

# かわにし

議会だより

第106号

2011

7.15



## 議会議員選挙

全議員再選 .....	2
岩手県大槌町に職員を派遣して支援 ..	4
被災地支援など5議員が町政をただす ..	10
3幼児施設を統合再編 .....	16

## しぶきをあげて

吉島幼稚園 P15に関連記事

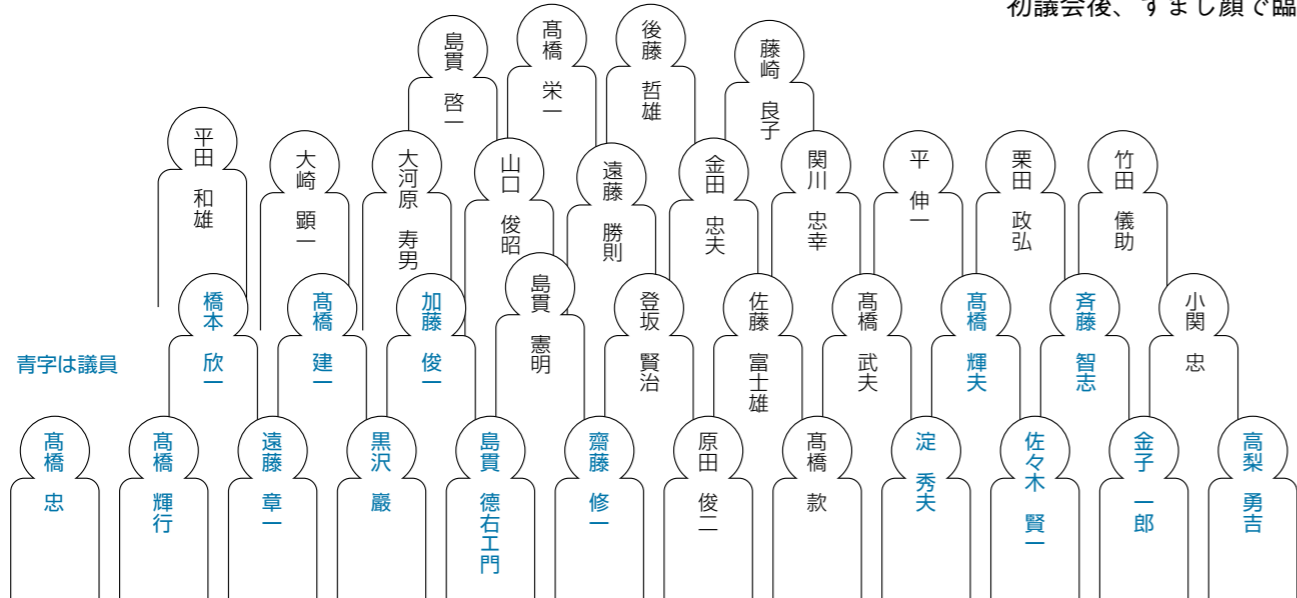


# チェック・提言活動など 議会 活性化に全力

議 会 事 人



初議会後、すまし顔で臨む



議長に  
齋藤 修一  
議員

副議長に  
島貫徳右工門  
議員



## 議会議員選挙

# 全議員再選

4月24日町議会議員選挙が行われ、定員15に対して16人が立候補し、その結果15人の現職議員が全員再選されました。  
5月2日に初議会が行われ、議長に齋藤修一議員、副議長に島貫徳右工門議員を選出し、町長提案の議会選出監査委員に高橋照夫議員を選出しました。また各常任委員会、議会運営委員会の各委員を選出し、正副委員長の選出を行いました。  
6月定例会において、町の行財政改革の進み具合の状況を調査するため、行財政に関する調査特別委員会を設置しました。

**挨拶**  
議長 齋藤 修一  
議員の皆様のご推挙により、議長の要職に就くことになりました。まことに身に余る光栄であります。議会の目的は、町民の安全安心な生活を築いていくための役割を果たせるかです。そのために議会を活性化していくことが重要です。元氣な町にしていくためにも議会の監視機能と政策提言を十分に果たしていけるよう取り組みたいと存じます。  
町民皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

- **行政財に関する調査特別委員会**  
委員長 島貫 徳右工門  
副委員長 高橋 輝行  
委員 金子 一郎、高橋 一、遠藤 章一
- **予算特別委員会**  
委員長 高橋 建一  
副委員長 佐々木 賢一  
委員 議長を除く全員
- **議会運営委員会**  
委員長 黒澤 巖  
副委員長 高橋 建一  
委員 高橋 賢一、佐々木 賢一、淀 秀夫、遠藤 章一
- **広報常任委員会**  
委員長 佐々木 賢一  
副委員長 斉藤 智志  
委員 高橋 輝行、高橋 照夫、高橋 建一、遠藤 章一
- **産業厚生常任委員会**  
委員長 遠藤 章一  
副委員長 高梨 勇吉  
委員 金子 一郎、島貫 徳右工門、高橋 照夫、黒澤 巖、高橋 建一
- **総務文教常任委員会**  
委員長 淀 秀夫  
副委員長 橋本 欣一  
委員 高橋 輝行、高橋 賢一、佐々木 賢一、高橋 俊一、加藤 俊一、斉藤 智志
- **議会選出監査委員**  
高橋 照夫
- **副議長**  
島貫 徳右工門
- **議長**  
齋藤 修一

新たな人事 決まる

6月定例会が6月7日から20日までの14日間の会期で開催されました。第1日目に、平成22年度2会計の繰越計算書の報告と、財政援助団体の経営状況3件の報告の後、5会計補正予算の専決処分を承認しました。条例2件と、平成23年度4会計補正予算を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会にそれぞれ付託しました。第2日目に、一般質問を行い5議員が被災地支援などをとりあげ、町政をたじました。第3日目に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、議案を審査しました。最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き、付託した6議案を原案通り可決し、請願1件を採択しました。

## 岩手県大槌町に

# 職員を派遣して支援

## 議会で追求！「予算の執行に問題はないか」



無残、津波にのみ込まれた大槌町役場

**岩** 手県大槌町は、東日本大震災による津波で、町が壊滅的な被害を受け、町長はじめ30数人の職員が行方不明となった。人口約1万5000人の内、死者・行方不明者は1605人にのぼり、戸籍や住民データ等がすべて滅失するなど、行政機能が失われ、復旧や復興に多くの時間を要する状況にある。

昨年7月、故井上ひさし先生のお別れ会で、原田町長と吉里吉里という地名がある大槌町の加藤町長が、互いにゆかりのある自治体同士ということから、これから連携して地域おこしをしていこうと約束していた。

**川** 西町ではこれまでの大槌町との交流の経緯から、一日も早い行政サービスの回復を願い、支援を申し出て職員派遣等を行うこととした。

具体的には、  
①職員の派遣  
職員の派遣期間は6月6日から8月5日まで。派遣職員は3名で、

選挙事務、戸籍、住民基本台帳に関する事務を行う。  
②義援金  
100万円を送る。  
③激励訪問  
6月下旬〜7月上旬に町、議会で大槌町を訪問する。  
④バスツアー  
県との共催事業。7月中旬に大槌町民の方々を2泊3日のバスツアーで本町に招く。

これら4事業を一般会計補正予算に盛り込んだ。総額は276万円。

① 一般会計補正予算は、予算特別委員会に付託され、分科会で審議を行った。議員から「補正予算の採決が6月20日となるので、6月6日から出張することがいわゆる議決前執行にあたるのではないか」「大槌町との具体的な交流はなく、支援は町長のスタンスプレーではないか」といった質疑があった。

**町** 当局から、「旅費は既決の予算で執行できるので適法であり、また町長が4月に大槌町を見舞った際に支援を申し出たもので、このたび要請がある」と答えた。

議会は執行機関でなく議決機関であるという点を重視し、町長に専属する執行権に対して今後も丁寧な説明を求めていかなければならない。

## 大槌町の被害状況

震災時、加藤宏暉町長をはじめとする町職員幹部ら約60人は災害対策本部を立ち上げるべく町庁舎2階の総務課に参集した。津波接近の報を受けて屋上に避難しようとしたものの、約20人が屋上に上がったところで津波が到達。町長と数十人の職員は間に合わず、消息が途絶えた。

町長以外にも課長クラスの職員が全員行方不明となったため、行政機能が麻痺した。被災以来東梅正昭副町長が町長の職務を代行していたが、6月20日に任期満了となり、平野公三総務課長が後任に就いた。町長選挙は8月28日に行われる。

## 岩手県大槌町



※吉里吉里：作家故井上ひさし氏の代表作に「吉里吉里人」がある。大槌町に吉里吉里という地名があることから地域おこしの一環として「吉里吉里国」の独立宣言をした。



# 平成23年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	91億4088万円(8288万円を追加補正)	賛成多数により可決(反対1)
下水道事業特別会計	5億9229万円(784万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	16億3377万円(1189万円を追加補正)	全員賛成により可決

企業会計		収入	支出	議決の内容
水道事業会計	収益的	5億1783万円	5億1783万円	全員賛成により可決
	資本的	8461万円(100万円を追加補正)	※2億1889万円(505万円を追加補正)	

※不足する1億3428万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん

平成23年度補正予算の主な事業		
東日本大震災支援事業(大槌町への義援金)		100万円
東日本大震災支援事業(大槌町への職員派遣旅費等)		176万円
景気浮揚対策補助金(プレミアム商品券・15%補助)		450万円
住宅建設支援補助金(住宅改良事業・県補助金)		735万円
防災対策事業(サーベイメーター空間放射能測定器など)		89万円
経営体育成推進事業補助金(新規就農者への設備投資支援)		400万円
農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業(きのこ・畜産)		1,315万円
畜産規模拡大支援事業補助金(東沢粗飼料生産組合)		1,109万円
乾燥調整施設等リニューアル対策緊急特別支援(中郡ライスセンター操作盤改修)		374万円
町有財産維持管理経費・工事費(町庁舎の街路灯設置)		246万円
公共土木施設災害復旧事業・工事費		799万円

補正  
予算

# 被災地支援

# 大槌町民をバスで招待



被災した大槌町役場

東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町の復旧を支援するため、職員派遣、義援金、町・議会の激励訪問、大槌町民のバス招待等の事業を行う。

276万円

## 大震災災害支援事業

予算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計等4会計補正予算、関係条例を審議し、全議案を可決しました。ここでは総括質疑、主な補正予算、分科会での質疑、討論を要約してお伝えします。

反対

一般会計補正予算で  
討論がありました。

高橋輝行 議員

東日本大震災は、未曾有の大災害であり、いち早い被災地の復興を願うものである。

平成23年度一般会計補正予算は、岩手県大槌町への行政支援に係る経費が盛り込まれている。町職員の被災地派遣については既決予算で派遣できるものの、議決前の執行であり事前着手といわざるを得ない。専決処分等の方法も考えられたのではないかと。

前倒しの執行は議会の立場から承服できない。

## 防災対策事業

放射能を測定する「サーベイメーター」を購入する。現在県総合支庁で使用している機種と同一。町内3カ所で測定し、結果はホームページ等で公表する。また、防災ベストを購入する。

89万円



放射能を測定するサーベイメーター

## 景気浮揚対策

商工会が発行するプレミアム商品券に対する補助金。15%（これまで10%）のプレミアムとし、売上げの一部を東日本大震災の被災地に復興支援として寄付する。

450万円



商品券で景気浮揚 — だり庵

## 義援金少なくないか

高橋照夫 議員

問

本町には、昭和42年8月の羽越

水害時に全国から温かい支援の手が差し伸べられた。このたびの大震災災害支援で大槌町に義援金を送るとして100万円では少なくないか。

町長

被災地への支援は幅広く行うべきであり、将来の人的交流につながるような支援をしていきたい。

山形町村会では岩手、宮城、福島各県町村会に1000万円ずつ送った。大槌町への支援は第1弾と考えている。

## 総括質疑

### 大槌町との交流、展望を示せ

橋本欣一 議員

問

東日本大震災で被災した岩手県

大槌町への支援(義援金、復興支援人員の派遣等)は、故井上ひさし氏との縁とはいえ、なぜ大槌町なのかといった動機づけが弱いし、今後の交流などの展望を町民に具体的に示す

町長

大槌町は、提携する市町村が他になく、町長が死亡、副町長も任期切れという厳しい事態となった。そのことを本町が知り、支援を決めた。今後の展開などは復興を待ち

検討したい。



# 条例



地震により倒壊した町内の車庫

## 震災被害者

# 課税を軽減

**東日本大震災に係る町税条例の改正**

東日本大震災により生じた損害に係る税法上の控除や課税免除等、住民税、固定資産税、

都市計画税等の改正を「緊急の対応」として行うもの。

《主な税制改正点》  
住民税関係では、雑損控除を平成22年に発

生したものととして23年分の住民税から適用可能とする。また、繰越可能期間を5年（現行3年）とした。

住宅借入金等特別税額控除の適用住宅が震災により居住の用に供することができなくなった場合でも、残りの控除対象期間については、引き続き税額控除の対象とする。

固定資産税では、震災により滅失、損壊した家屋の所有者等が、代替家屋を平成33年3月までに取得、改築した場合、被災家屋の床面積分の税額を軽減する。

全員賛成により可決



楽しく、仲よく「美郷幼稚園」で遊ぶうね

## 新幼稚園 みさと 「美郷」に

統合再編する新幼稚園を「美郷幼稚園」にする改正  
東沢へき地保育所、吉島幼稚園、中郡幼稚園を統合再編し、平成24年4月から新たな幼稚園として開園するため、新幼稚園の名称を「美郷幼稚園」と定めるもの。

全員賛成により可決

※関連記事16P

# 放射能データ 広域で利活用を

## 第1分科会

**問** 放射能測定器「サーベイメーター」を購入するが、観測データの広域的な利活用と情報の共有など、住民周知の徹底を図ること。

**総務課** 購入費の2分の1が県から補助される。観測データの利活用は、県の会議で要望し対応したい。

**問** 大槌町への職員派遣で、既に派遣していながら、その後修正予算の提案となった。職員の派遣命令をはじめ予算の執行に問題があったのではないか。

**総務課** 緊急性があり、専決処分を行わず職員を派遣した。既決の予算で派遣の旅費を支払い、その後修正予算の形で提案させていただいた。

**問** 指定寄付金の使途について、どのような指定があったのか。

**教育** 川西中学校統合記念事業として実施する、スクールコンサートの開催費用にあてるよう指定があった。

**問** 職員人件費の基本給削減の考えはあるのか。

**教育** 平成16年度以降、期末手当の独自削減を行ってきた。基本給は人事院勧告に準拠してきたので今後その方向でいきたい。

**問** 全国川西会議交流事業は、古田旗争奪少年軟式野球大会参加だけではなく、経済交流を含めた方策を検討すべきである。

**まちづくり課** 兵庫県川西市のアンテナショップは、平成22年8月にオープンした。現在5店舗出店しているが、アンテナショップ以外に今後の具体的経済交流方策の計画はない。

## 景気浮揚に

## 第2分科会

# 15%の プレミアム商品券

**問** 景気浮揚対策事業の内容は。

**産業課** 商工会が実施するプレミアム商品券発行事業への助成で、今期は15%のプレミアムとなる。

**意見** プレミアム商品券の売り上げの一部を東日本大震災復興支援に寄付をする説明を受けたが、引き続き町内経済の活性化につながるよう求める。

**問** 農業振興費経営体育成事業の内容は。

**産業課** 知事から認定を受けた新規就農者の農業機械導入に

対する、国から補助金である。

**意見** 新規就農者への農業機械購入の国庫補助は理解できる。さらに重要な、若手新規就農者への指導アドバイザーや交流・情報交換の支援体制の確立を求める。

**問** 園芸施設の雪害対策支援の内容は。

**産業課** 今冬の大雪による果樹園施設への復旧支援を行う。雪害対策の施設復旧支援の規制緩和を行い、農業生産の維持確保に力を入れるべき。

**意見** 松くい虫やナラ枯れ被害が拡がっており、支障木の伐採や撤去などについて、早急な対策を行うように。

**問** 健康審査・各種検診事業費補正についての内容説明を求める。

**健康課** 本町が実施する大腸がん検診及び肝炎ウイルス検診を無料化するものである。大腸がん検診の無料対象年齢は41歳から61歳まで、肝炎ウイルス検診の無料対象年齢は、41歳から71歳までとした。



# 議員定数は10名でいいのでは

## 町長ー十分な議論を尽くしてほしい



高橋輝行 議員

定例会2日目に、5人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。



こうぞく地区基盤整備事業区域と道路網  
川西バイパスの早急なルートの決定を望む

**高橋** 私は、このたび議員定数削減を選挙公約として立候補した。

近隣市町においても削減して選挙が実施されている。議員定数削減について、どのような見解をもたれているか。

**町長** 中央政府の指導により、定数削減は経費削減のシンボリックな見方で捉えられ、その結果、地方自治の理念とは正反対の地方議会軽視につながり、

地方自治の形骸化に自ら手を貸すことにつながってしまったのではないかと考えている。

町民の負託を受けられた議員の皆さんが、議会機能の一層の充実に努められるよう定数の検討を含め十分な議論を尽くしていただきたい。

### 国道287号「川西バイパス」

**高橋** 高豆蔻地区の基盤整備事業が計画されている区域内を

国道287号「川西バイパス」が予定されている。平成22年度中にその計画路線が確定されることになっているが、どうなっているのか。

**町長** 置賜生活圏30分構想を実現するための、重要な路線である。

また、「公立置賜総合病院」へのアクセス道路としても位置付けられている。本路線は、順次整備が進められ、平成22年

3月には長井南バイパス川西区間が完成し、米沢北バイパスについても事業の推進が図られている。

一方、長井南バイパスから米沢北バイパスまでの本町を縦断する区間「川西バイパス」については、昨年度、ルート選定の調査が実施され、山形県において設計協議が行われている。議員指摘のとおり、こうぞく地区基盤整備事業が予定されていることから、早急に

引き起こし、本町にも延べ625人が避難し、現在も避難している方がいる。

**淀** 3月11日に発生した東日本大震災は、亡くなった方や行方不明者が2万4千人にも及ぶ未曾有の大災害となった。

私は4月10日と5月3日の2回にわたって被災地をまわり、生々しい瓦礫の山が延々と続く海岸線の現状を目にし、隣人の不幸を肌で感じた。災害対策への町長の所見は。

**町長** 昨年、本町の地域防災計画を作成した。大震災を受け放射能対策など再点検をして見直したい。

**淀** この大震災は大津波で福島第一原子力発電所が事故を

ルートの決定を行い、24年度事業採択に向けて準備を進めていると聞いている。

### 町職員の給与の引き下げ

**高橋** 地元選出の船山県議と共に早急なルート決定を県に働きかけるべきではないか。

**町長** 本町の骨格を成す重要な路線であり、早期着工を引き続き強く要望していく。

**高橋** 政府は、国家公務員の給与を人事院の勧告を待たずに労使協議で10%引き下げると表明したが、本町の対応は。

**町長** 本町は、人事院の勧告を重視しながら給与改定を行うべきものと考えている。

**淀** う準備を進めている。美しい地球を蝕む温暖化や原発問題。エコとエゴの闘

いが、永遠の人類の課題と感じている。被災地は今、早急の復興を望んでいる。



昨年犬川小学校で行われた川西町の総合防災訓練

# 町の災害対策は万全か

## 町長ー地域防災計画を再点検



淀 秀夫 議員



# 築50年以上たつ庁舎の耐震強度はあるのか

## 町長 — 他の施設も含め強度の確保を図りたい

**橋本** 大災害時、復旧の拠点となる庁舎機能をどのように確保し、職員の安全も確保していくのか。

**橋本** 災害等の非常時に、限られた資源（人員、もの、情報、ライフライン等）を有効活用し、業務の優先度をあらかじめ決めておく、業務を継続するための計画「業務継続計画」（BCP）はあるのか。

町内各学校が指定されている。平成25年度以降の小学校の町内2校化（統合）により、避難所としての機能がなくなるのではないかと。小学校は地域活動のシンボルの一つとしても維持し、できるだけ地域におくべきではないか。

小学校区の具体的な方向を定める。

**町の節電・停電対策は**

**橋本** 県では2回、節電県民運動として電力15パーセント削減目標の社会実験を行ったが、結果は12パーセント止まりだった。この夏の電力不足による突然の停電も予想される中、町民に対しての周知を含め町の対応は。

**町報** 町報などにより、家庭でできる具体的な節電方法の啓発や、各企業に対し協力をお願いする。

庁舎内においてもクーリス、エアコンの温度設定、パソコンの待機電力のカット、照明の間引き調節の実施。庁舎南側にはグリーンカーテン（植物栽培）を設置するなどの対策に取り組む。

**その他の質問**

●震災前後の町内の景気と雇用状況

●再生可能エネルギーの検討

**町長** 庁舎機能の確保はすぐに取り組み、非常用電源の整備と燃料の確保に対応したい。住民サービスに係るデータ管理は広域共同処理により万全を期している。職員については災害を想定した訓練により安全確保に努める。

**橋本** 大規模災害時、緊急避難先として

**町長** 昨年の新型インフルエンザ流行時に話題となったが、現在は策定していない。今後検討したい。

**町報** 町報などにより、家庭でできる具体的な節電方法の啓発や、各企業に対し協力をお願いする。

# 危険箇所の一級町道整備を早急に

## 町長 — 安全確保のため対策を講ずる

**加藤** 一級町道の拡幅や歩道、防雪柵の整備は多額の予算をとまうが、人の命を守る安心・安全な道路づくりを考えたとき、利便性よりも優先的に危険箇所の早期整備、改善が必要と思うが。

**町長** 一級町道は18路線、48キロメートルあり、この内約10キロメートル（20・8パーセント）に歩道が設置されている。交通事情等を勘案しながら有利な事業の導入を検討し整備していく。

**町長** 点検をして早期に整備していく。

**加藤** 一級町道で特に冬場、防雪柵や吹き払い柵等が必要と思われる危険箇所があるのか。あるとすればその対策は。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。

**町長** 冬季交通確保のため、道路除雪については、機械除雪延長約265キロメートル、消雪延長約3.5キロメートルある。防雪柵等については、施工費用が多額であるうえ、維持管理費用もともなうことから早急な対応は困難であり、県に対し支援策を要望している。



橋本欣一 議員



町庁舎南側に植え付けられたグリーンカーテン（あさがお）



あぶない — 早急な歩道の設置が望まれる八幡交差点付近



# 一般質問



齊藤智志 議員

## 道路改良・整備に関する「相談窓口」を設置せよ

町長―町民の要望を聞く機会をつくりたい

本町の道路行政の基本方針と今後の課題について

**齊藤** 本町には、町道は1114路線

で524キロメートルある。また、「法定外公共物（赤道）」といわれる幅員2・5メートルに満たない道路が多く存在し利用されている。

などバイパス整備が進むと旧道は町に移管され「町道」の総延長は限りなく伸び、その維持管理経費は増え続け町の財政を圧迫していく。

町長の道路行政に対する考えを伺いたい。

**町長** 国道の整備は、地域間を結ぶ重要な事業である。

県道は、歩道の未設置箇所も多く、重要要望事業として、国や県とこれからの協議していく。

**齊藤** 本町では幅員2・5メートル

に満たない、「赤道」を生活道路として利用し不便を感じている人がいる。その人たちは全て自前で維持補修をしなければならぬ。その実態はどうなっているか。

**町長** 道路法の適用を受けられない道路は「法定外公共物」と言い、国から平成17年に譲与され路線延長の把握や生活道路であるかどうかの判別は困難で

ある。「法定外公共物」の維持管理は、一般生活の中で利用されてきた道路であるという経過があり、利用者による維持管理をお願いしている。

**齊藤** 車社会や高齢社会となり以前の「赤道」と言われた時代とは違って来た。どのようにしたら安心安全な生活を送れるか、役場はそれに耳を傾け窓口を開くべき。

**町長** 座談会などを含め町民の皆さんから意見要望など本音の話を聞き取る機会をつくりたい。

本町の放射能汚染の実態とその対策は

**齊藤** 5月11日、県知事と市町村長と

で「放射能汚染」の実態と今後の対策等に関して協議が行なわれ、その後山形県の農業被害額が5億7千万円を超えたとの報道があった。

今後の本町としての対応はどうか。

**町長** 米沢市では、1日4回空間放射線量測定を行っており

人体に影響のある値は検出されていない。水道水も毎日検査を行っており影響はない。農畜産物は、全て厚生労働省が定めた暫定数値を下回っており、県産農産物の安全は確認されている。



利用者管理の「法定外公共物の道路」法定町道とならず

# 繰越明許

## 22年度から1億1284万円 18事業を繰り越し

### 平成23年度に繰り越した主な事業

庁舎整備事業（分庁舎外壁・空調設備改修工事）	750万円
ふるさと総合センター整備事業（消防設備設置工事）	214万円
電子自治体推進事業（情報システム更新業務委託料）	1,713万円
生きがい交流館施設整備事業（冷房設備工事）	197万円
浴浴センター施設整備事業（屋根塗装工事）	829万円
門前犬川駅前線道路改良工事（測量設計委託料）	310万円
田町東陽寺前線側溝整備事業（整備工事費）	2,700万円
遅筆堂文庫整備事業（無線ICタグ活用蔵書管理）	1,250万円
町立図書館整備事業（図書購入及び本棚の整備）	200万円
総合運動公園クラブハウス整備事業（屋根塗装等）	193万円
防災対策事業（防災装置購入費）	119万円
配水管布設替事業（工事時期を翌年度に変更）	2,150万円

「繰越明許費」とは、年度内に予定していた事業が終わらず、支出できなかった予算を翌年度に繰り越して事業を行い支出することができる予算のこと。平成22年度から平成23年度に繰り越されたものは、一般会計17事業で9134万円、水道事業会計1事業で2150万円となり、全体の繰越明許費は1億1284万円となっている。

## 採択

### 請願

◎県指定天然記念物への請願

《請願者》

川西町大字洲島645番地

三部落環境整備委員会 委員長 村田廣茂

《紹介議員》

鳥貫徳右工門

《審査の経過と結果》  
本町では昭和62年に、洲島のサイカチを町指定天然記念物に指定した。

その後、平成23年1月に県教育長より「県指定文化財候補の推薦についての依頼」があり、早速「県指定文化財候補の推薦（報告）」

全員賛成により採択

## 継続

◎議員定数削減を求め

る請願

《請願者》

川西町大字時田135

2番地の1  
川西町の未来を考える会

代表 菅野一則

《紹介議員》

高橋輝行

### 表紙の写真



しづきをあげて

6月29日、梅雨の合間の暑い暑いひと時、吉島幼稚園の年長の子どもたちが吉島小学校のプールで元気に水遊び。無邪気に遊ぶ姿を見て、子どもたちの明るい笑顔を絶やさぬために、私たち大人は責任を果たさなければならぬと再確認させられました。  
東日本大震災で被災した子どもたちが、1日も早く子どもらしく無邪気に遊べる環境になることを望みたいものです。







# 町民の声



## ❖ プロフィール ❖

あおき なおみ  
青木 直美

長井市成田生まれ  
夫と1歳の女の子、夫の両親、祖母の  
6人家族。  
「仕事と子育てで充実した生活」を  
送っている。趣味は映画鑑賞

長井市のゆいしだ自動車に勤  
務する中小松在住の青木直美  
さんに、子育てや町に望むこ  
とを聞いてみました。

### 川西に住んでみて の感想

長井市出身ですので  
自然環境もあまり変わ  
らず違和感なく住むこ  
とができました。

なかでも私の住んで  
いた地域では無かった  
子供主体のお祭りでの  
神送りや虫送りがあり、  
地域全体で子供たちを  
見守り育てているんだ  
なあと思いました。

### 子育ての苦労と喜び

子育ては初めての経  
験なので、右も左もわ  
からずに、周囲の人た  
ちに助けってもらいまし  
た。

特に生まれてすぐの  
入浴は病院で習ったと  
はいえ、不慣れのため  
母や親戚の人に入れて  
もらいました。

子供が泣いていると  
なぜ泣いているのかも  
わからなくて頭を悩ま  
せることも多いですが、  
昨日までできなかった



四世代同居の家族とともに

ことができたり、私の  
顔を見てニコッと笑っ  
てくれるのを見ると、  
悩みを忘れ幸せな気持  
ちになります。

### 仕事と子育ての両立

現在は長女一人です  
が、保育園に預けて仕  
事をしています。

朝、保育園に行く準  
備や朝食を食べさせる  
のを主人が手伝ってく  
れ、帰宅後は母や祖母  
の協力で、毎日を送れ  
ています。

ただ、保育園の迎え  
があるために、職場の  
人に協力してもらい、  
定時で上がらせてもら  
っているのですが、なんと  
か両立できています。

### 行政に望むこと

小学生が遊べる場所  
は、たくさんあるよう  
ですが、娘のような幼  
児が遊べる砂場などの  
ある公園が少ないので、  
身近なところにもっと  
遊べる環境があるとあ  
りがたいです。

## 編集のあと

▼全国的に町民参加型  
の広報が求められてお  
り、本町が取り組んで  
いる広報モニター、ア  
ドバイザー制が評価を  
得ている。そのせいも  
あってこのところ議会  
広報視察の申し込みが  
相次いでいる。▼4月  
に議会議員改選となり、  
今期から当委員会は県  
内2例目の広報常任委  
員会となった。その意  
義をあらためて自覚し、  
新委員一同一層の努力  
を重ねたい。(佐々木)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 斉藤 智志
- 委員 高橋 輝行
- 同 高橋 照夫
- 同 高橋 建一
- 同 遠藤 章一
- 同 小林 伸也
- 同 近野ユキ子
- 同 近野ユキ子
- 同 アドバイザー(文章)
- 同 アドバイザー(写真)
- 同 阪野 吉平
- 同 青木 督平
- 同 鳴 源一